

全道7月中の交通事故分析について (過去5か年死亡・重傷事故)

令和3年6月11日
警察本部交通企画課

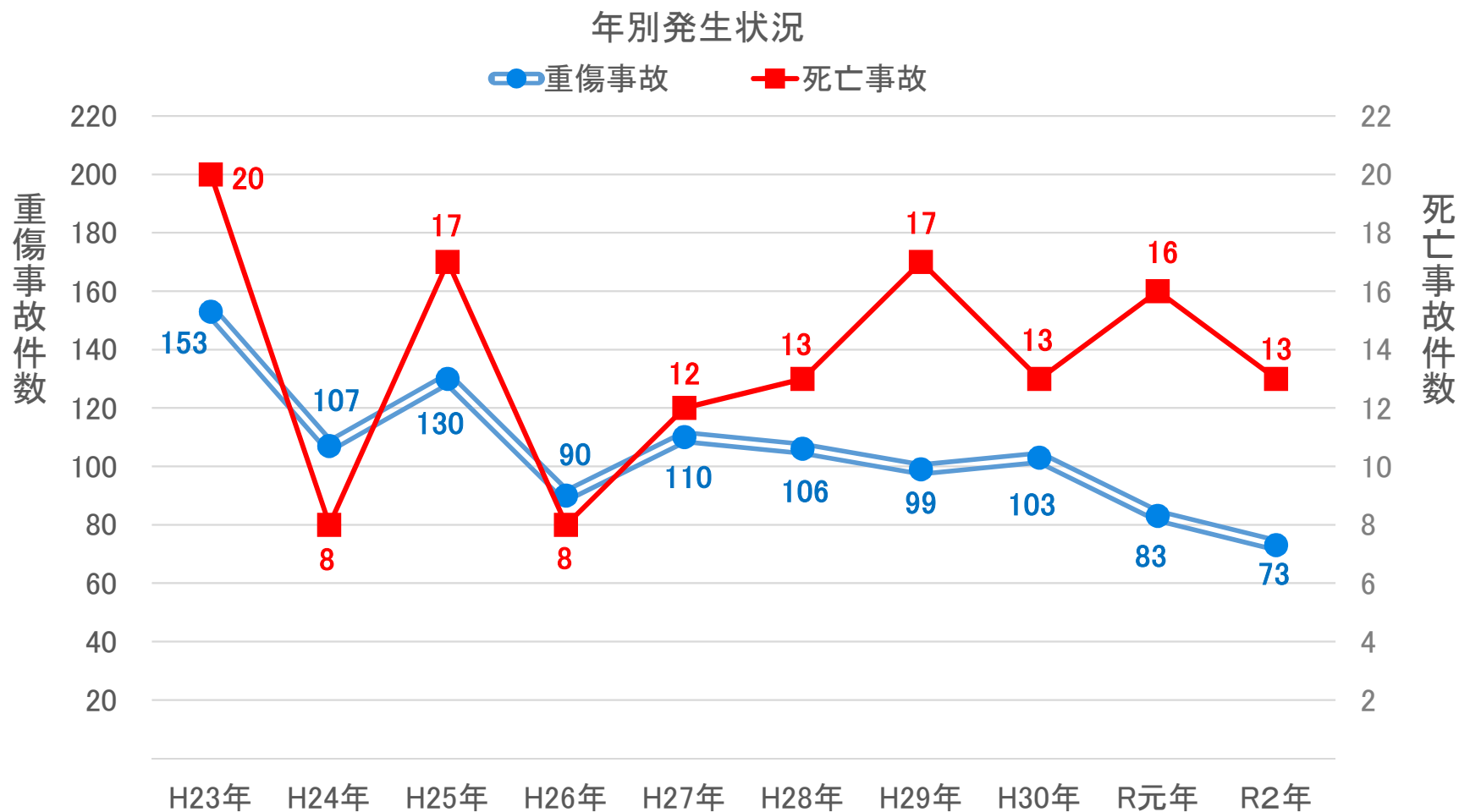
【概況】

- 事故類型は、人対車両が最も多く、次いで自転車対車両が多い。
死亡事故は車両単独が最も多く、次いで人対車両が多い。
- 四輪乗車中の死者のうち、約4割がシートベルト非着用で、非着用のうち5割以上がシートベルトを着用していれば助かった可能性が高い。
- 人対車両は、時間帯別では8時から10時が最も多く、次いで14時から16時が多い。
地形別では市街地の交差点が最も多く、次いで市街地の直線が多い。
- 人対車両の第1当事者(車両)の違反別では、歩行者妨害等が最も多く、次いで安全不確認が多い。
年齢層別死傷者数では、65歳以上が最も多く、全体の約6割を占めている。
- 正面衝突及び車両単独は、時間帯別では14時から16時が最も多く、次いで10時から12時が多い。地形別では非市街地直線が最も多く、次いで非市街地カーブが多い。
- 正面衝突及び車両単独における第1当事者の年齢層別では、65歳以上の高齢運転者が最も多く、次いで24歳以下の若年運転者が多い。
- 自転車対車両は、時間帯別では8時から10時及び16時から18時、地形別では市街地の交差点、事故類型別では出会い頭が最も多い。

(注)本資料は、令和2年12月末日までに入手した7月中発生 of 事故データにより作成したものである。

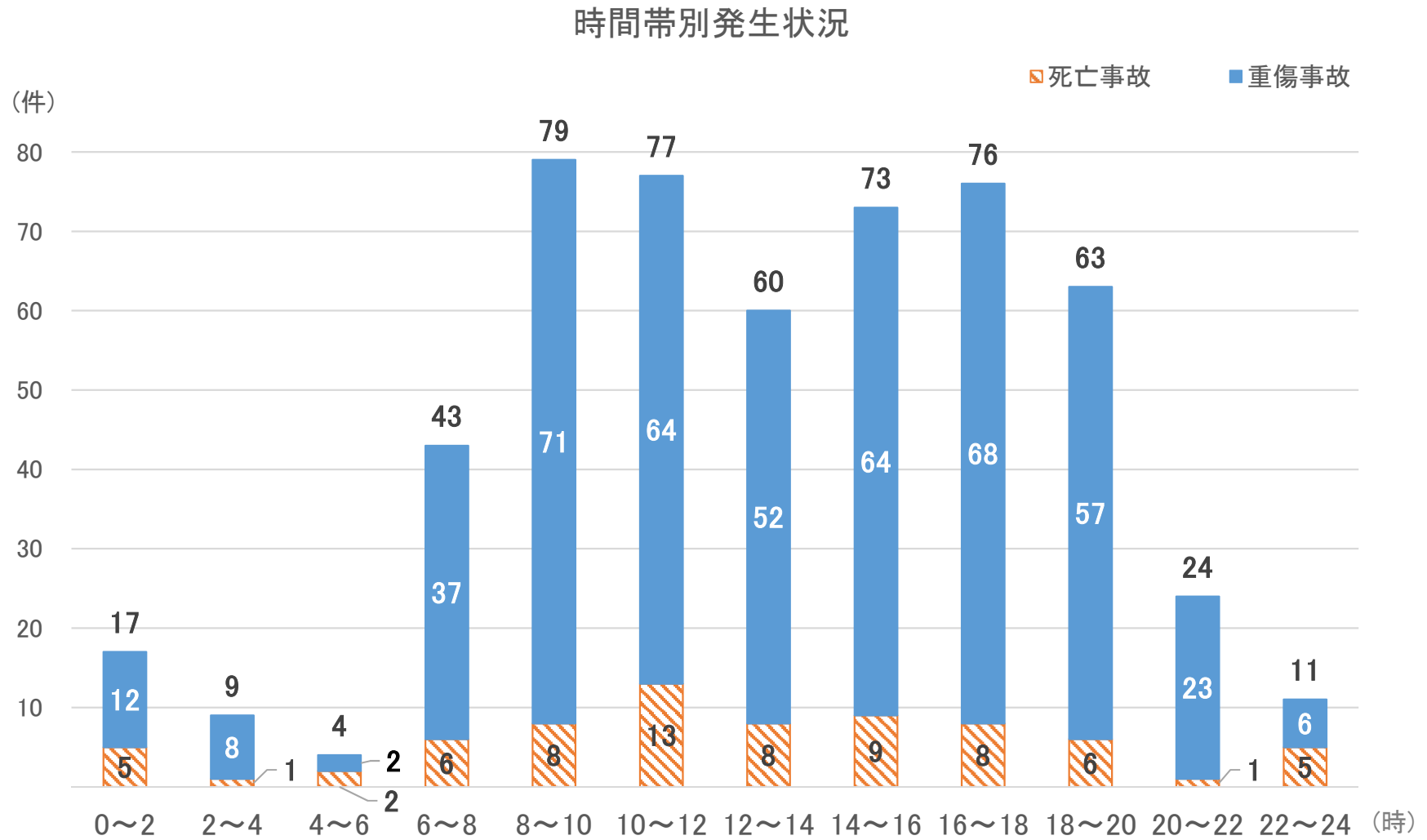
1-1 年別死亡・重傷事故発生状況

年別の死亡事故件数については、増減を繰り返し横ばいとなっている。
重傷事故件数については減少傾向にあり、令和2年は過去10年で最も少なかった。



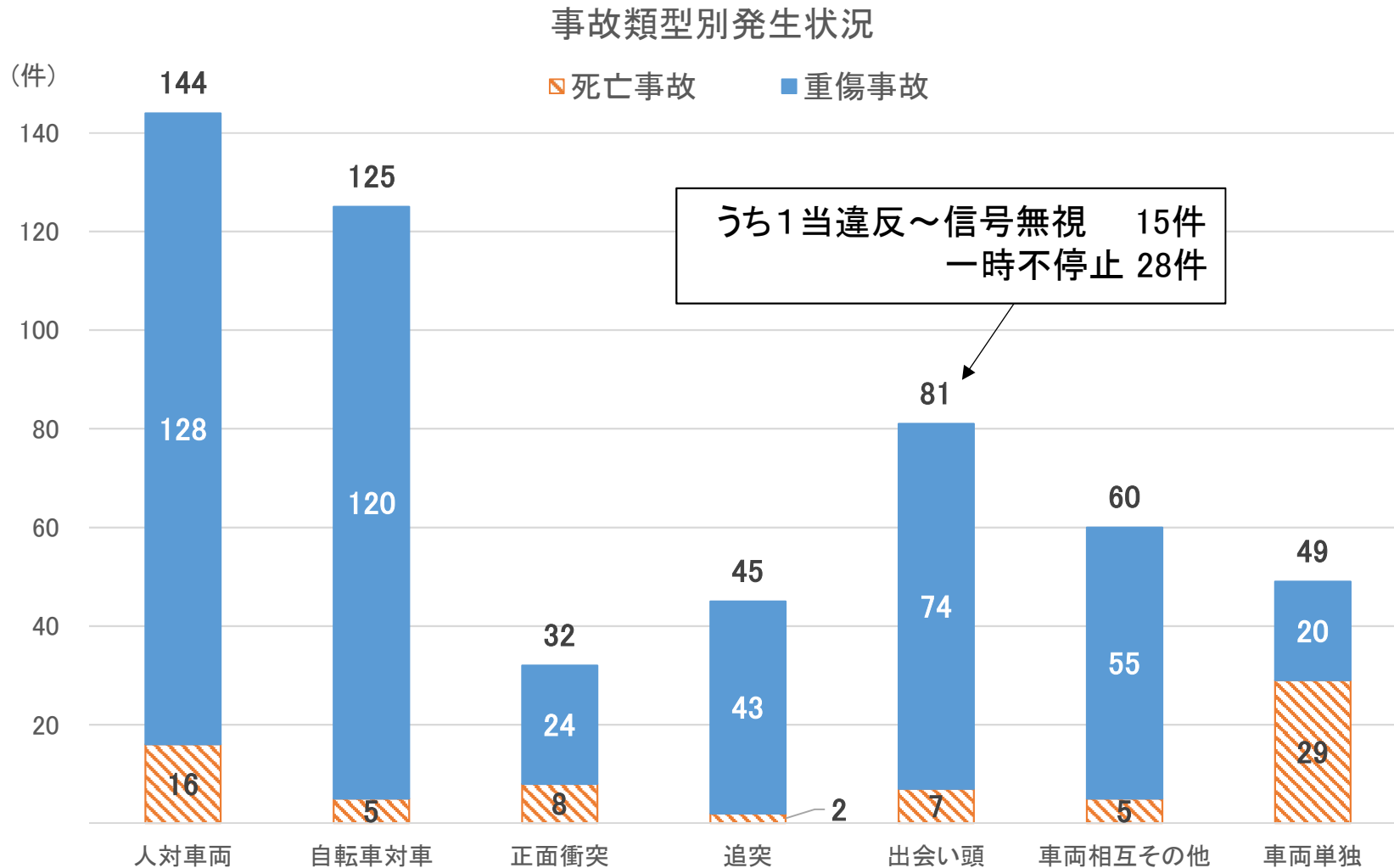
1-2 時間帯別死亡・重傷事故発生状況

8時～10時が最も多く、次いで10時～12時が多い。



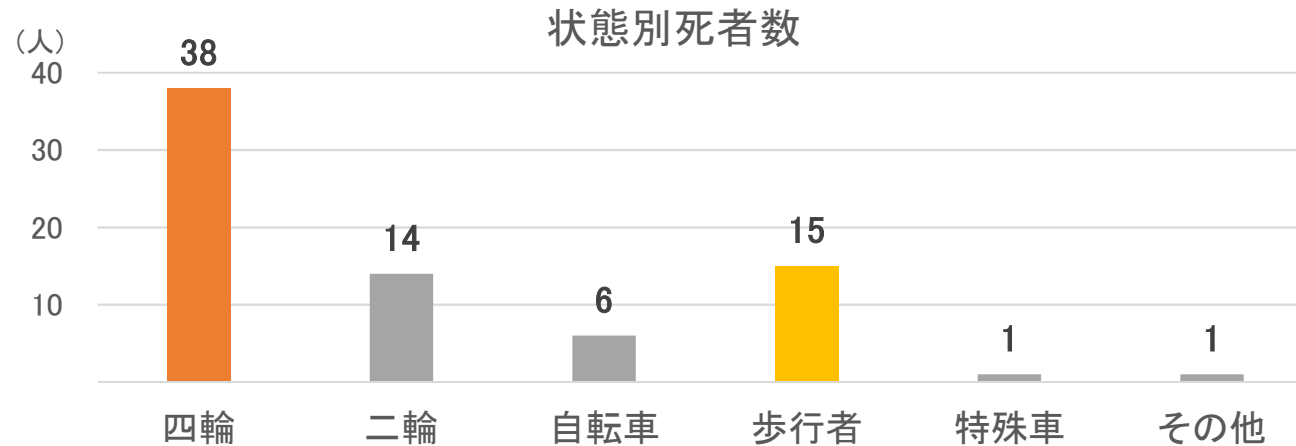
1-3 事故類型別死亡・重傷事故発生状況

人対車両が最も多く、次いで自転車対車両が多い。

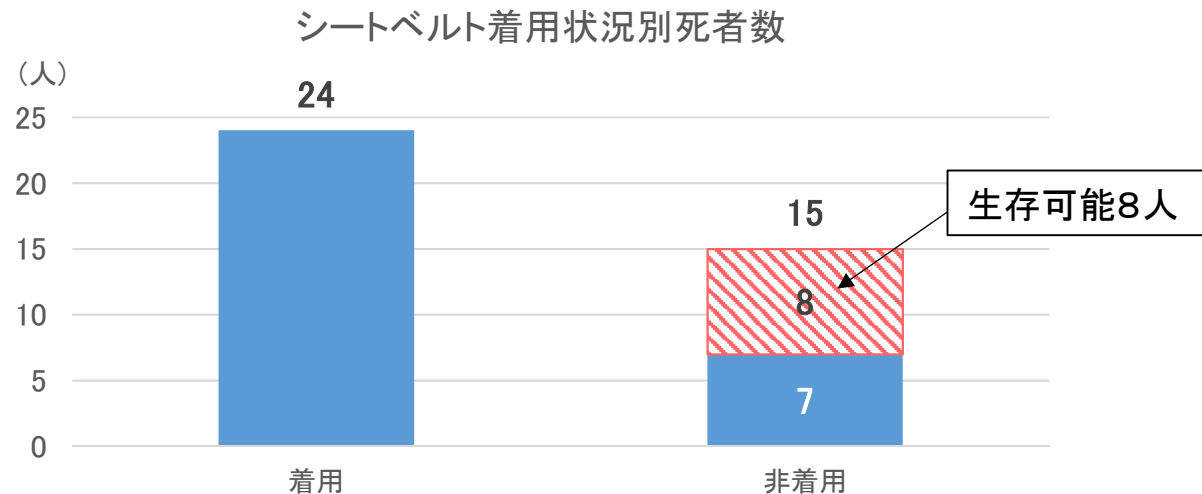


1-4 状態別死者数、シートベルト着用関係

状態別死者数は、四輪乗車中が最も多く、次いで歩行者が多い。

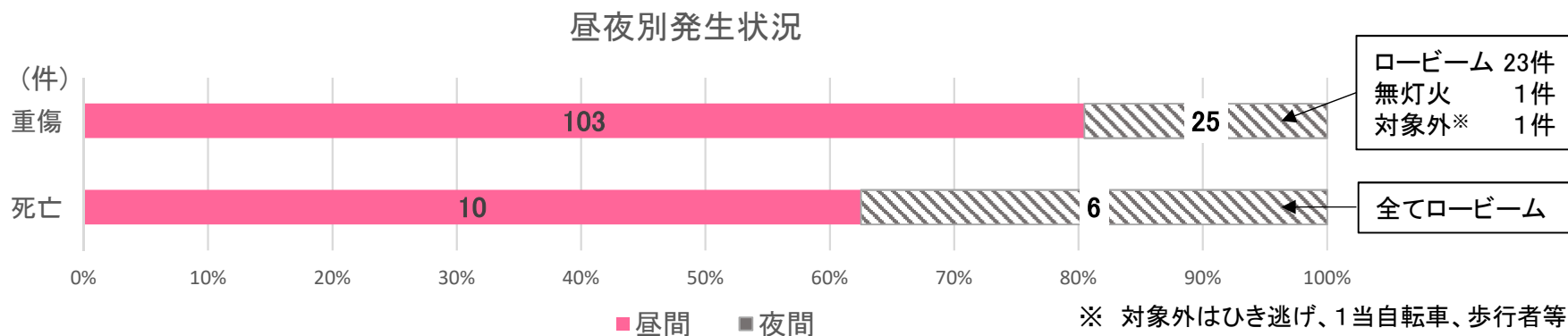
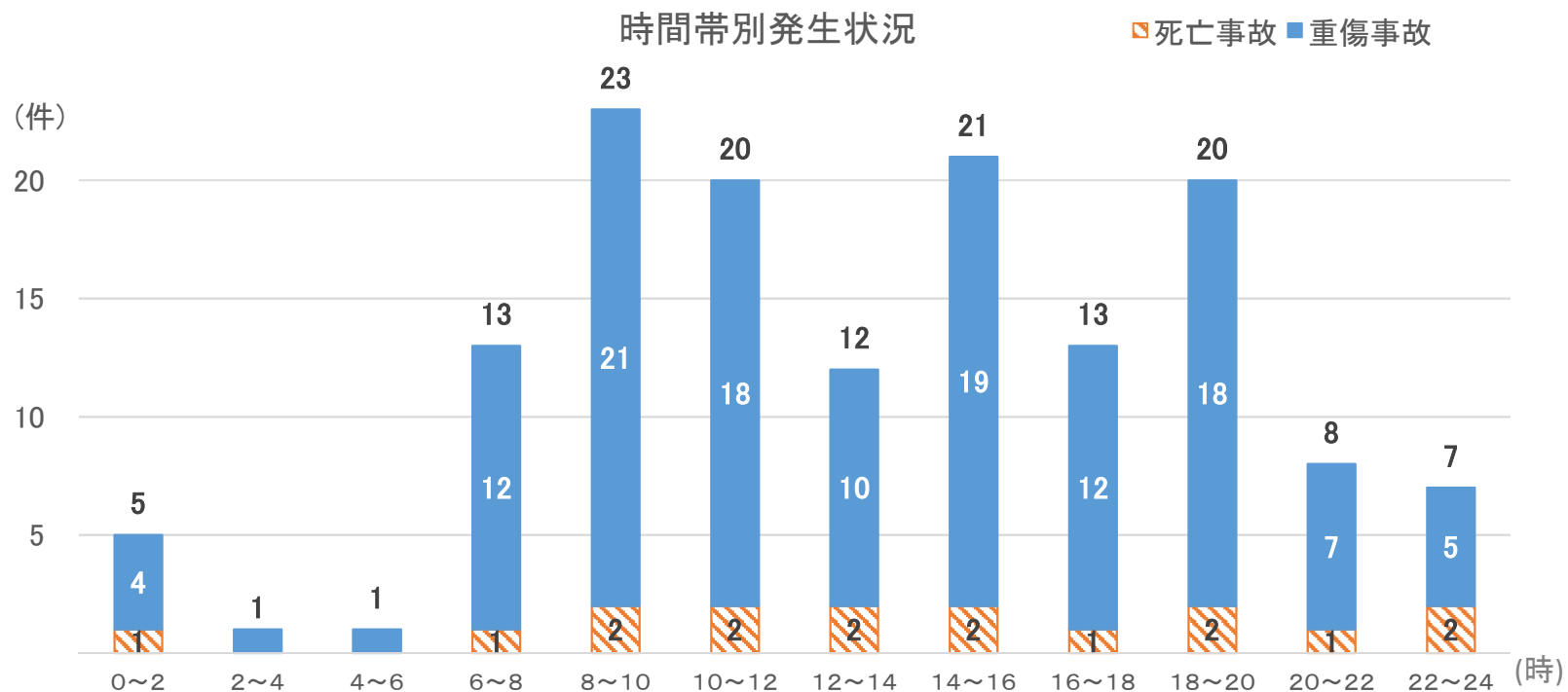


シートベルト着用対象者(四輪及び特殊車)の死者39人中、シートベルト非着用者は15人(38.5%)であり、このうち8人(53.3%)はシートベルトをしていれば助かった可能性が高い。



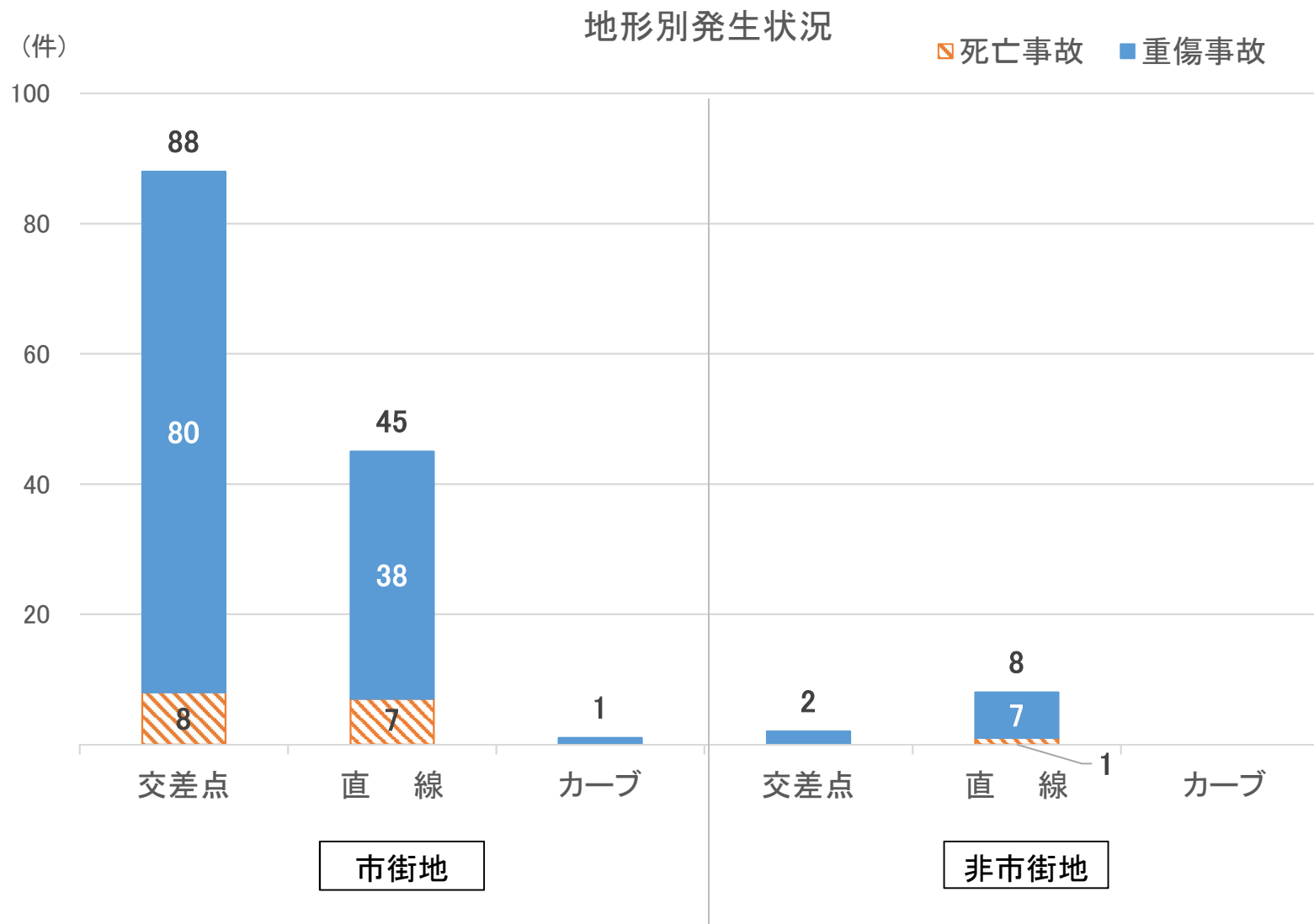
2-1 人対車両における時間帯別発生状況

8～10時が最も多く、次いで14時～16時が多い。



2-2 人对車両における地形別発生状況

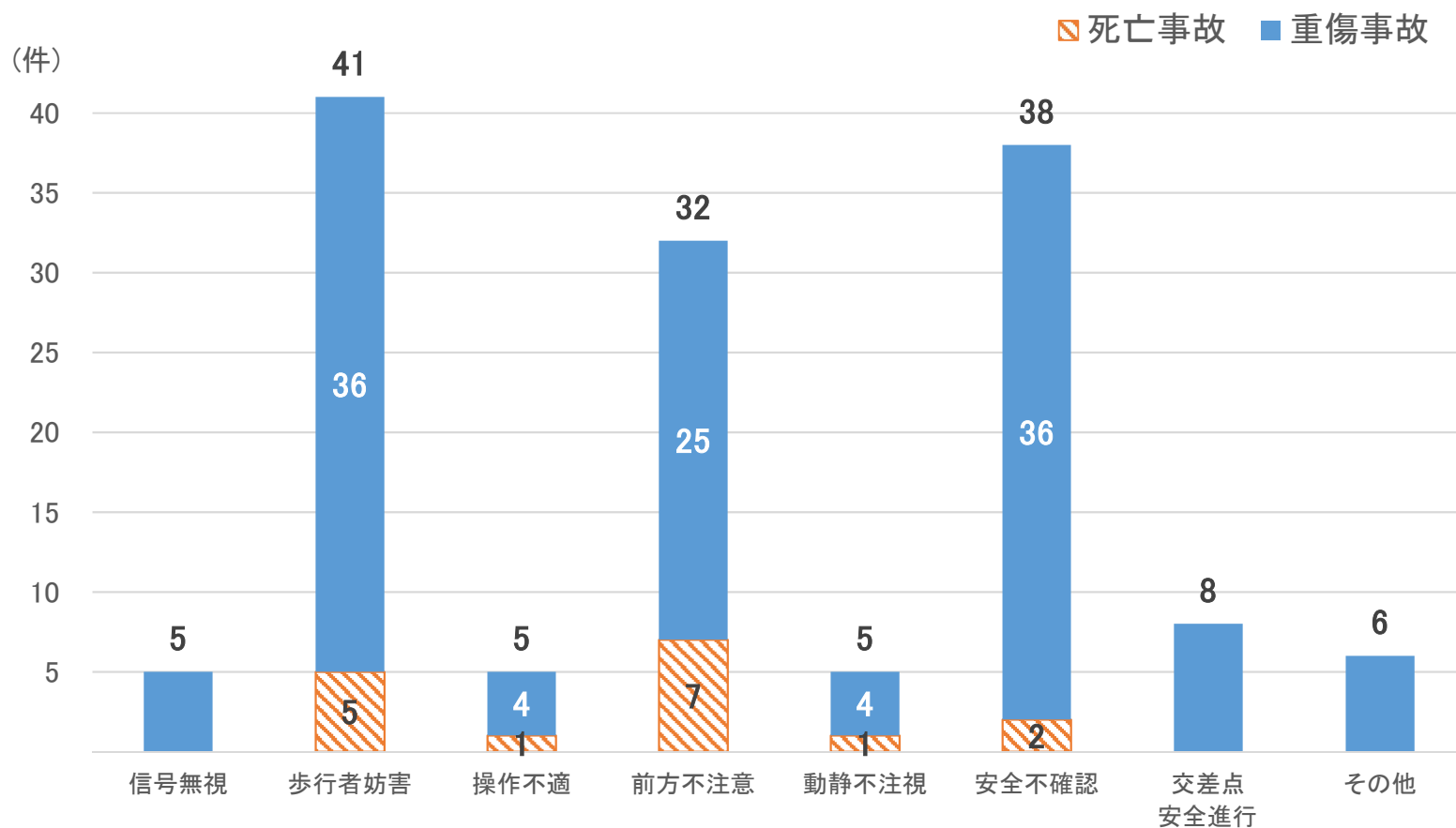
市街地交差点及び市街地直線で9割以上を占めている。



2-3 人対車両における1当の違反別発生状況

歩行者妨害等が最も多く、次いで安全不確認が多い。

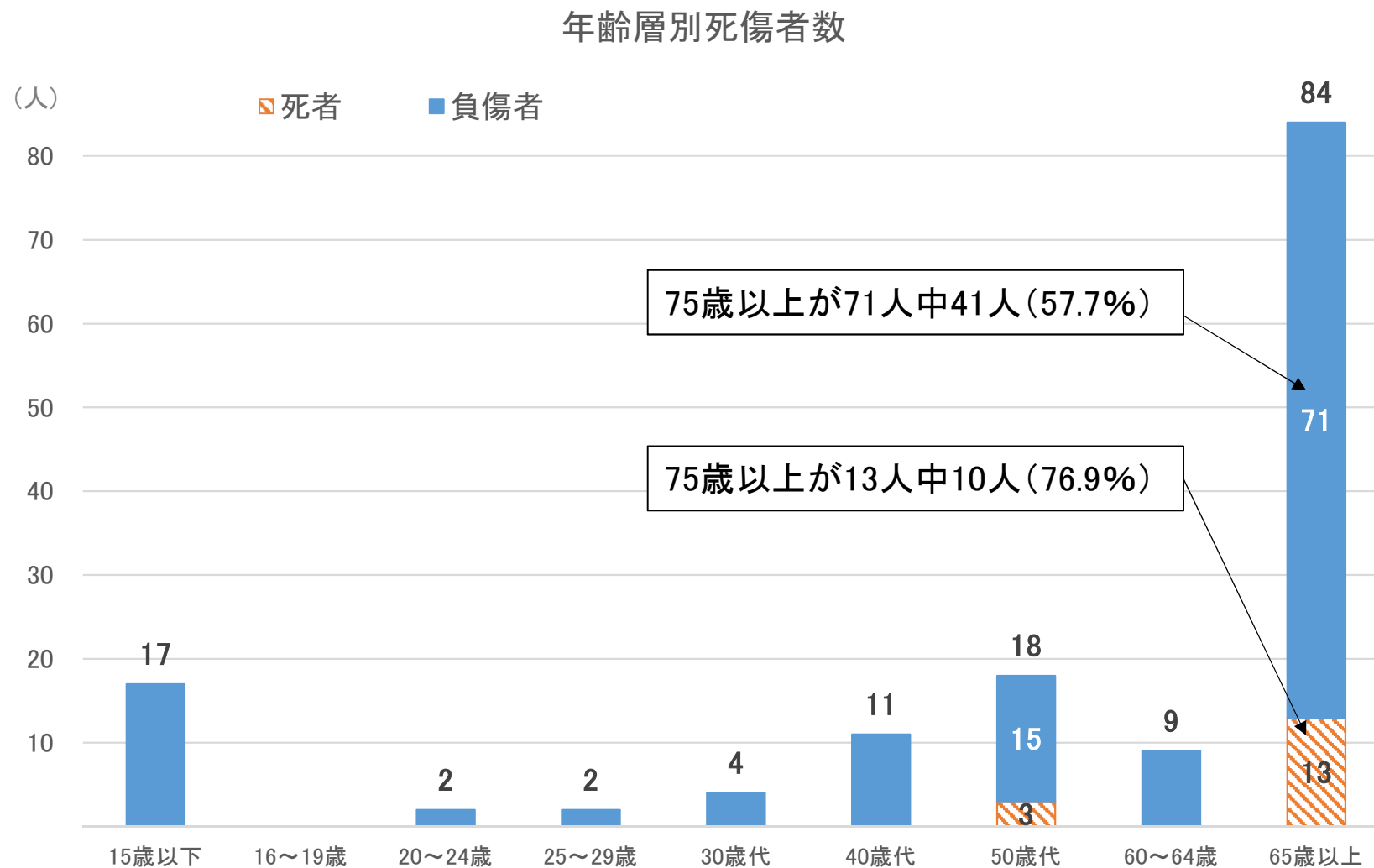
1当違反別発生状況



※ ひき逃げ及び1当が歩行者の場合を除く

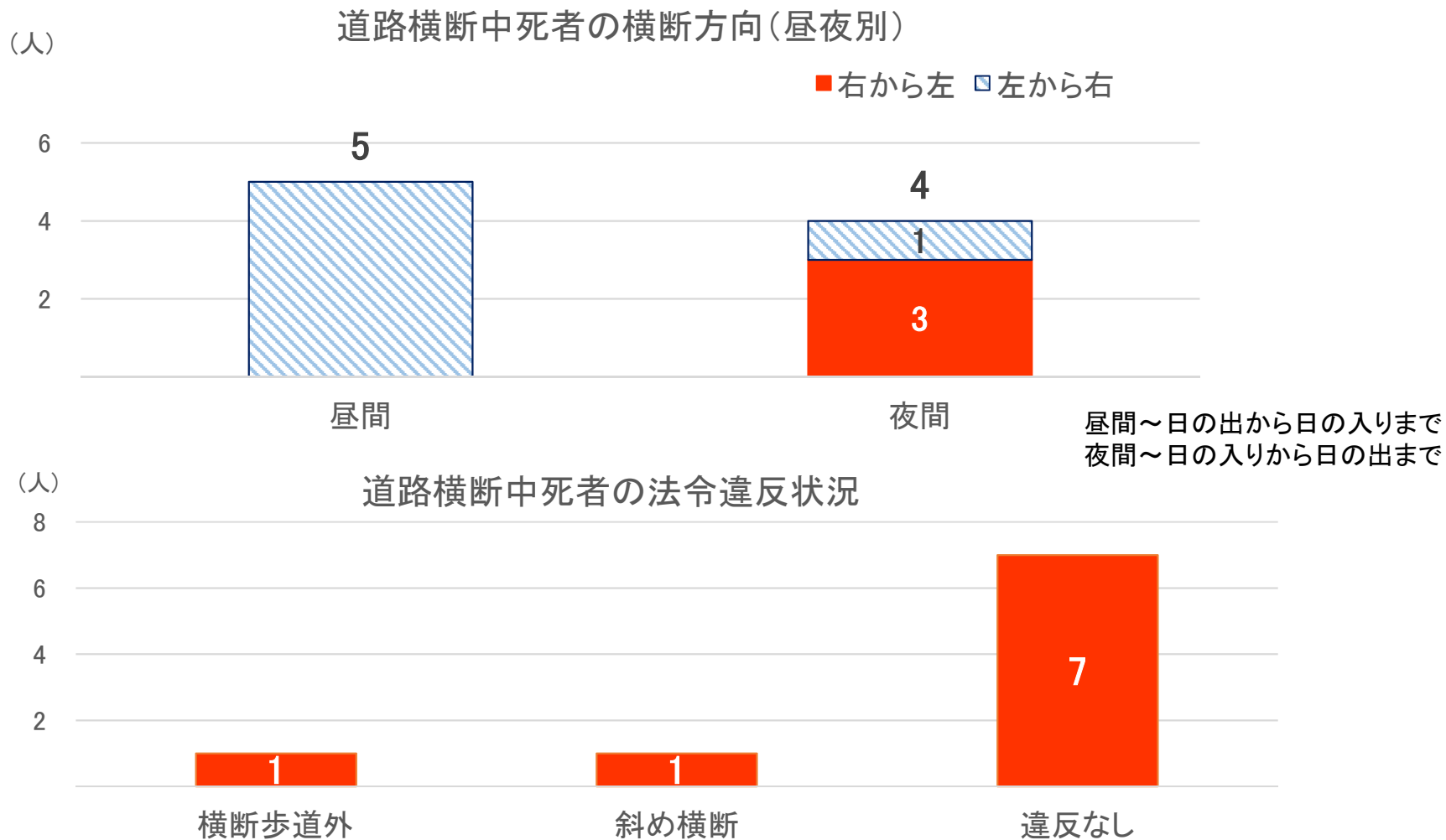
2-4 人対車両における年齢層別死傷者数

65歳以上が最も多く、全体の約6割を占めている。



2-5 人対車両における歩行者の横断方向別死者数・法令違反状況

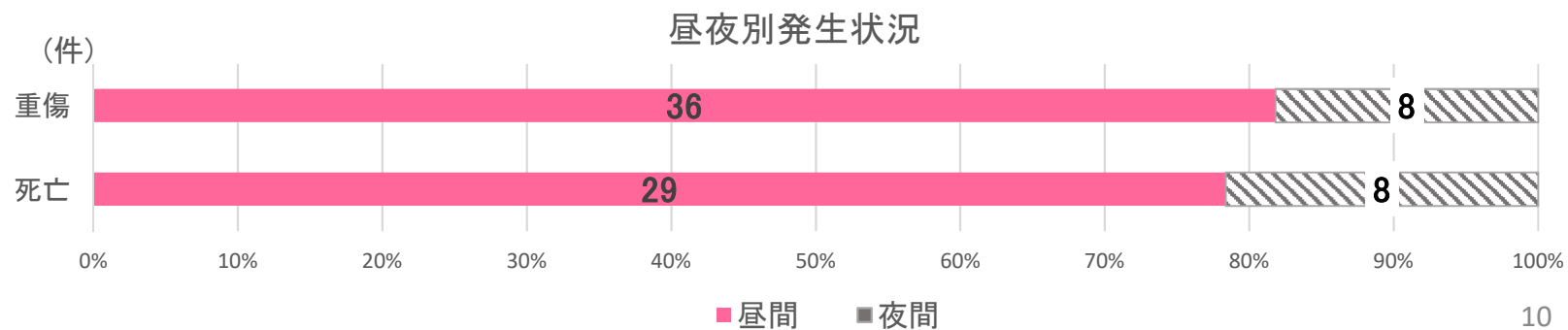
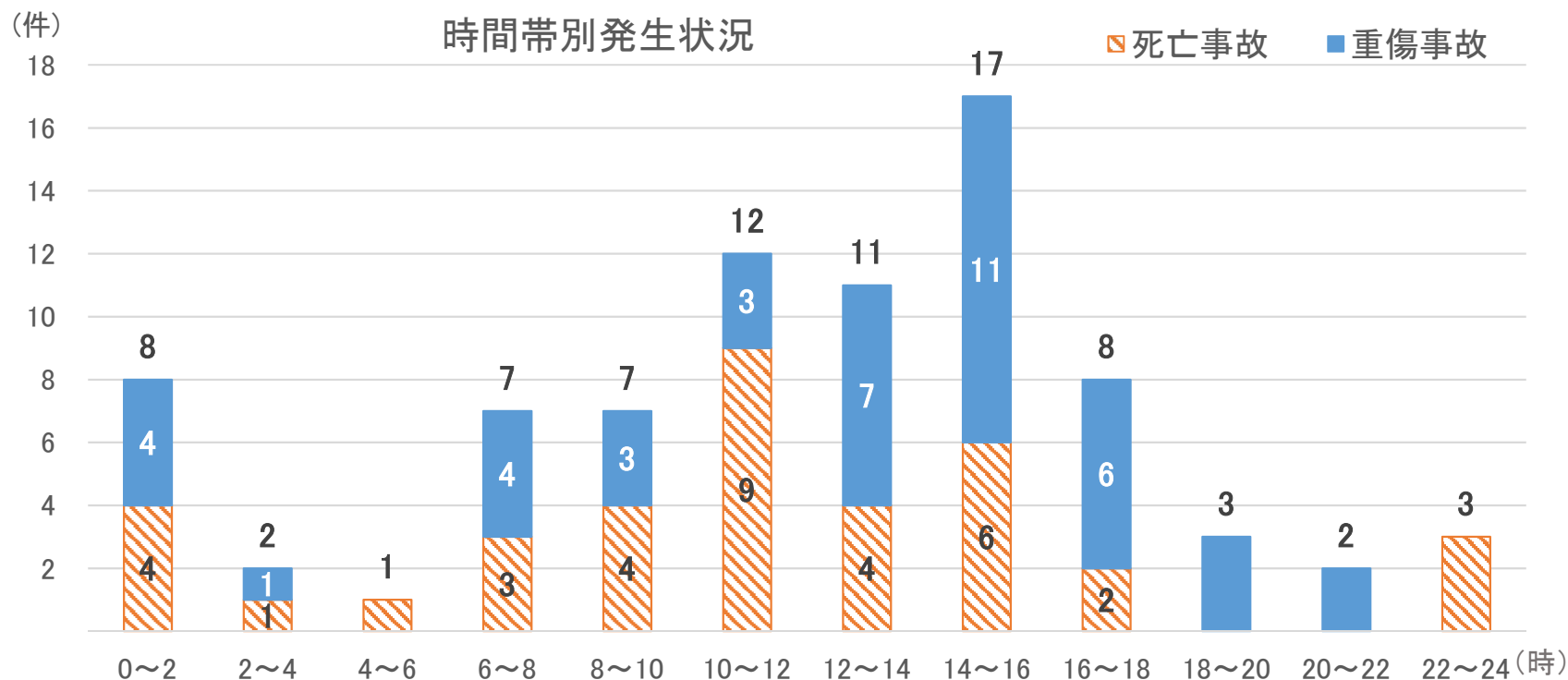
道路横断中の死者9人のうち、昼間が5人、夜間は4人となっており、昼間は左から横断が多く、夜間は右から横断が多い。



道路横断中の死者9人のうち、横断歩道外などの「違反あり」が2人(22.2%)となっている。

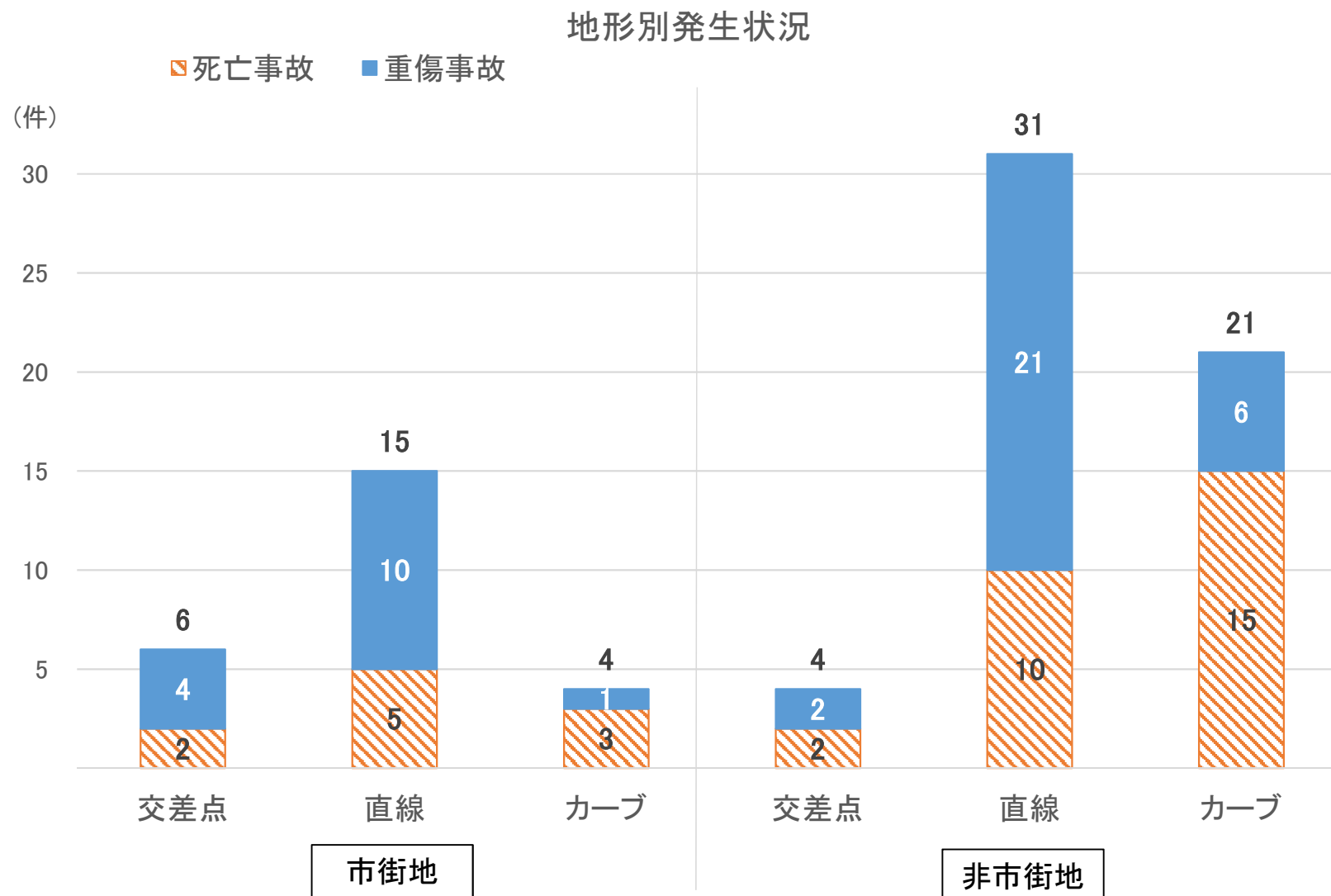
3-1 正面衝突・車両単独における時間帯別発生状況

14時～16時が最も多く、次いで10時～12時が多い。



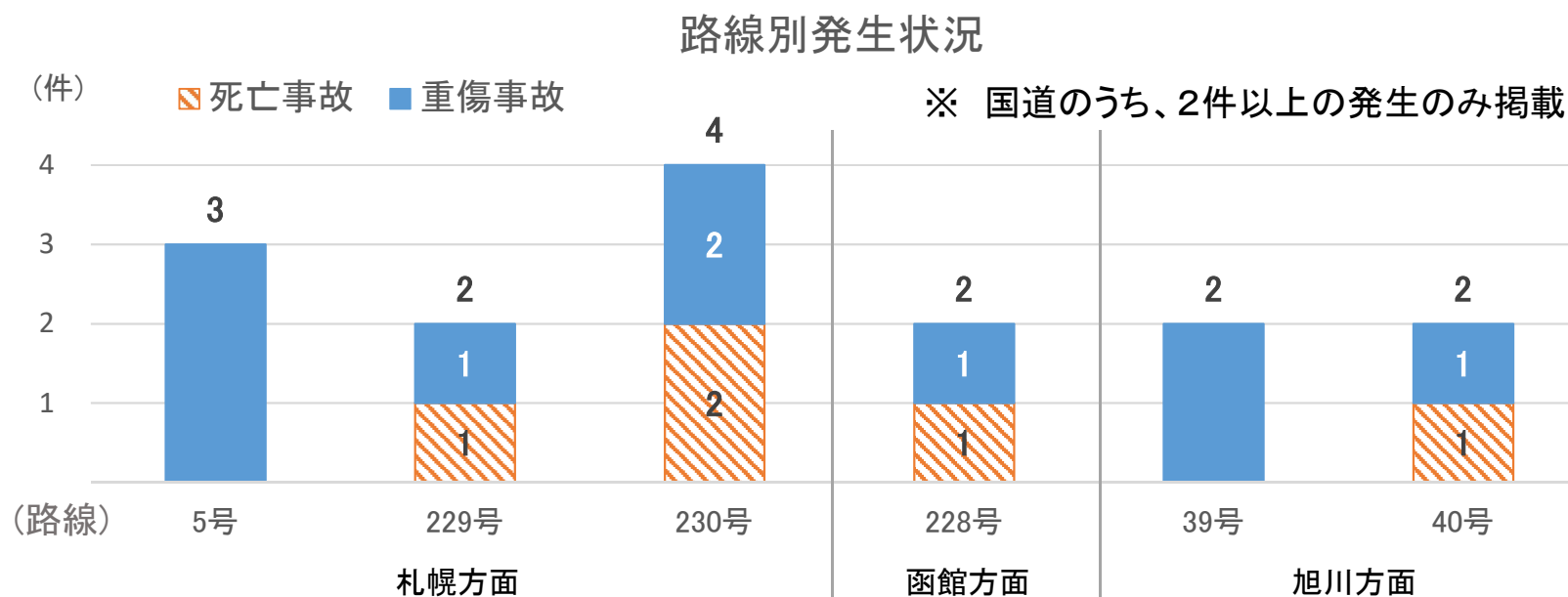
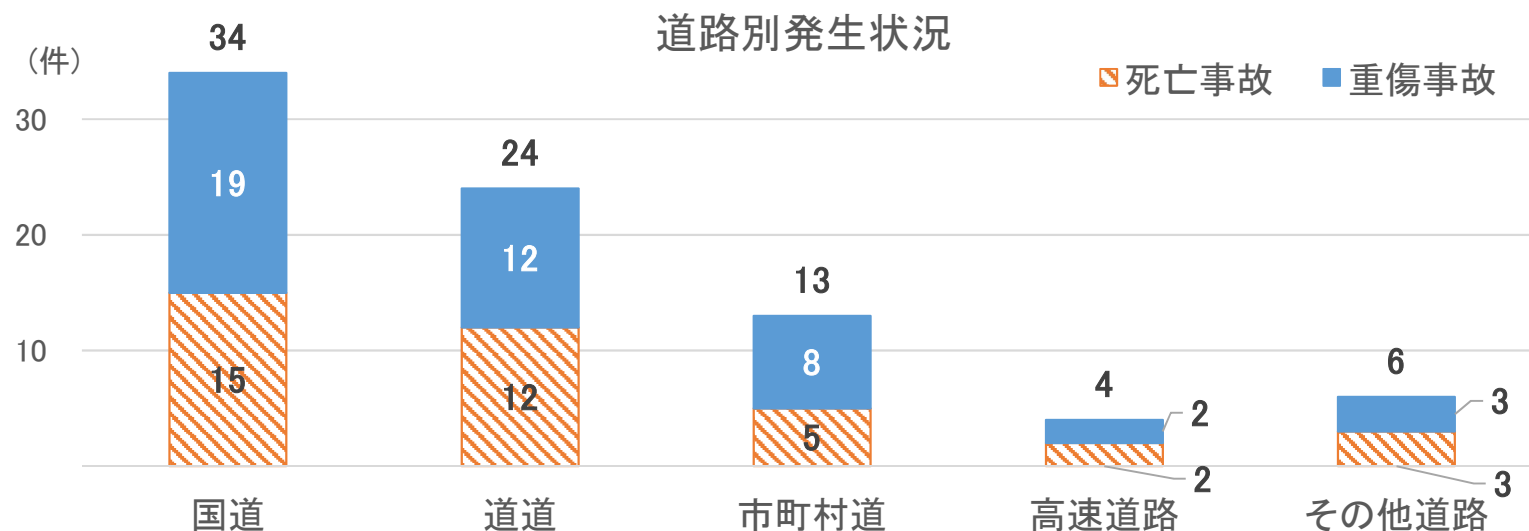
3-2 正面衝突・車両単独における地形別発生状況

非市街地直線が最も多く、次いで非市街地カーブが多い。



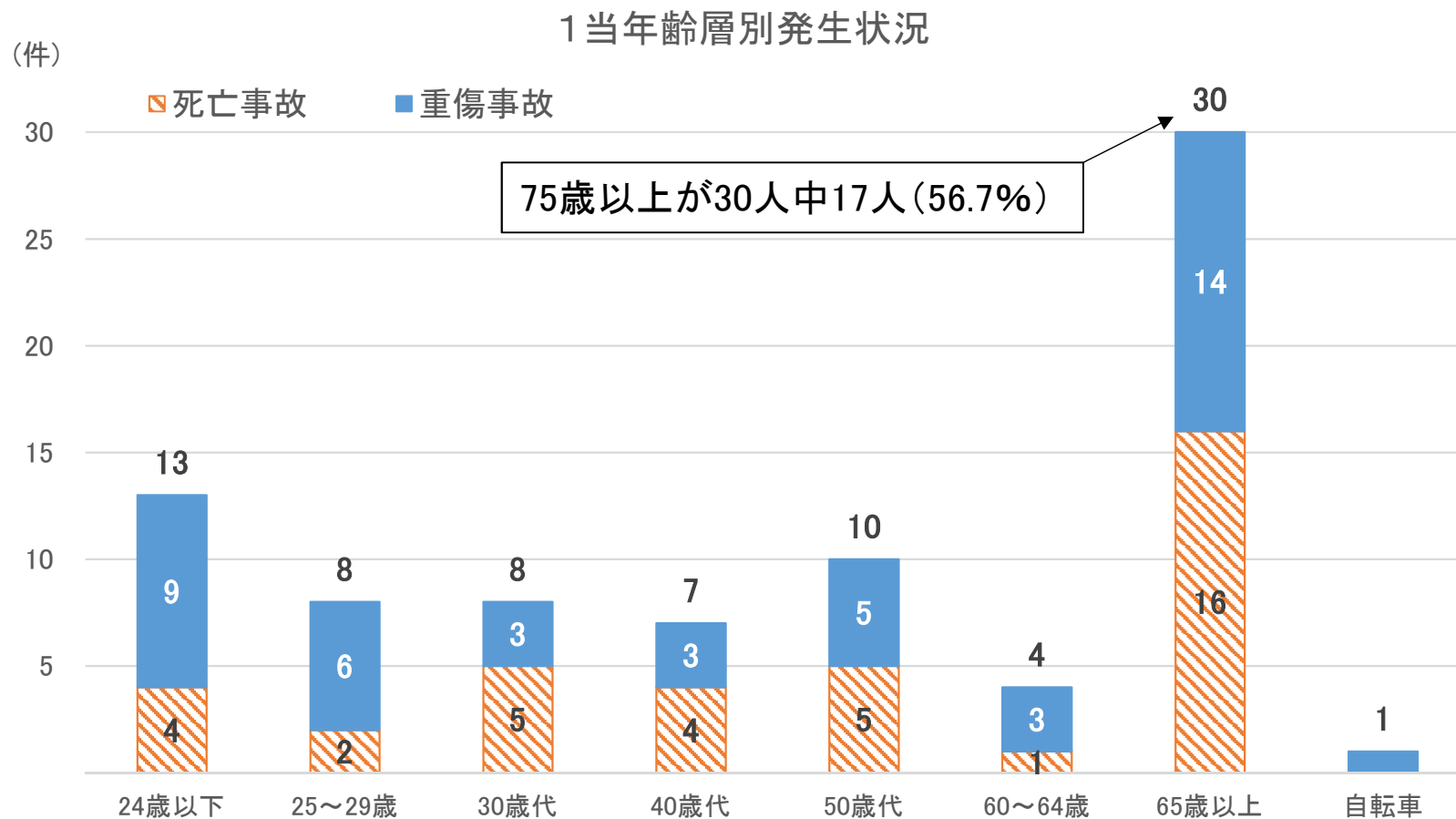
3-3 正面衝突・車両単独における道路別発生状況

国道及び道道での発生が7割以上を占めている。



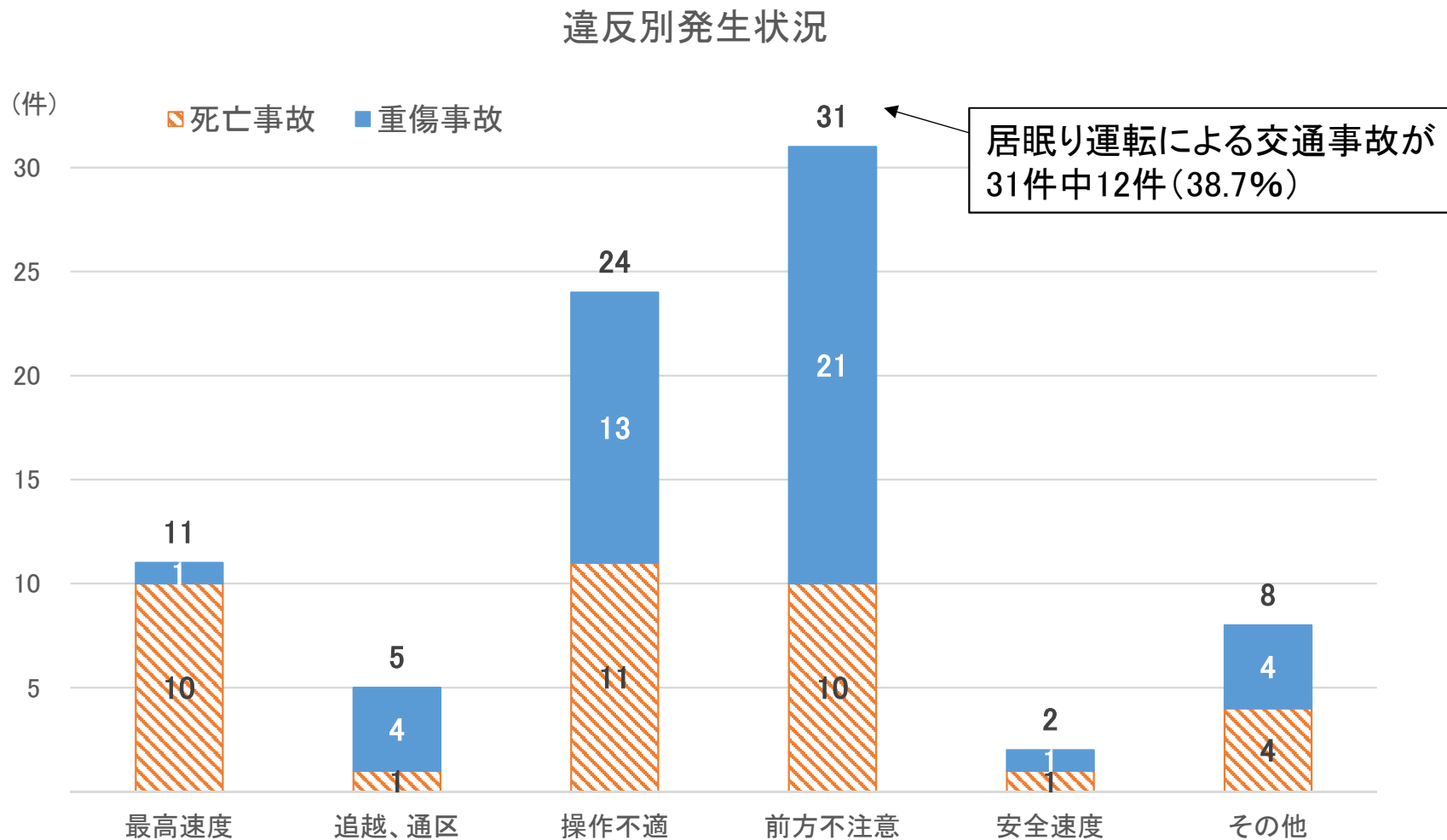
3-4 正面衝突・車両単独における1当の年齢層別発生状況

65歳以上が最も多く、次いで24歳以下が多い。



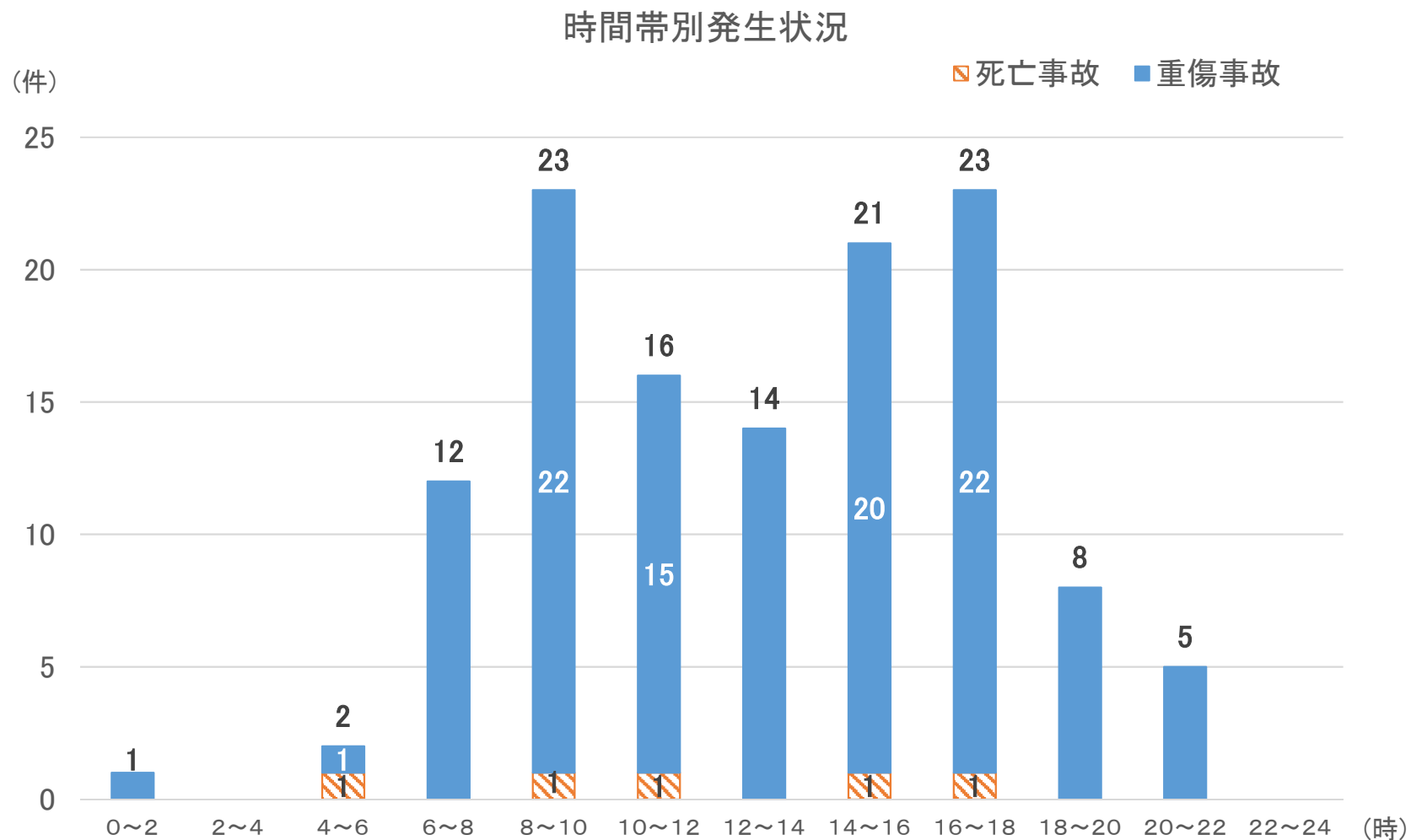
3-5 正面衝突・車両単独における1当の違反別発生状況

前方不注意が最も多く、次いで操作不適が多い。



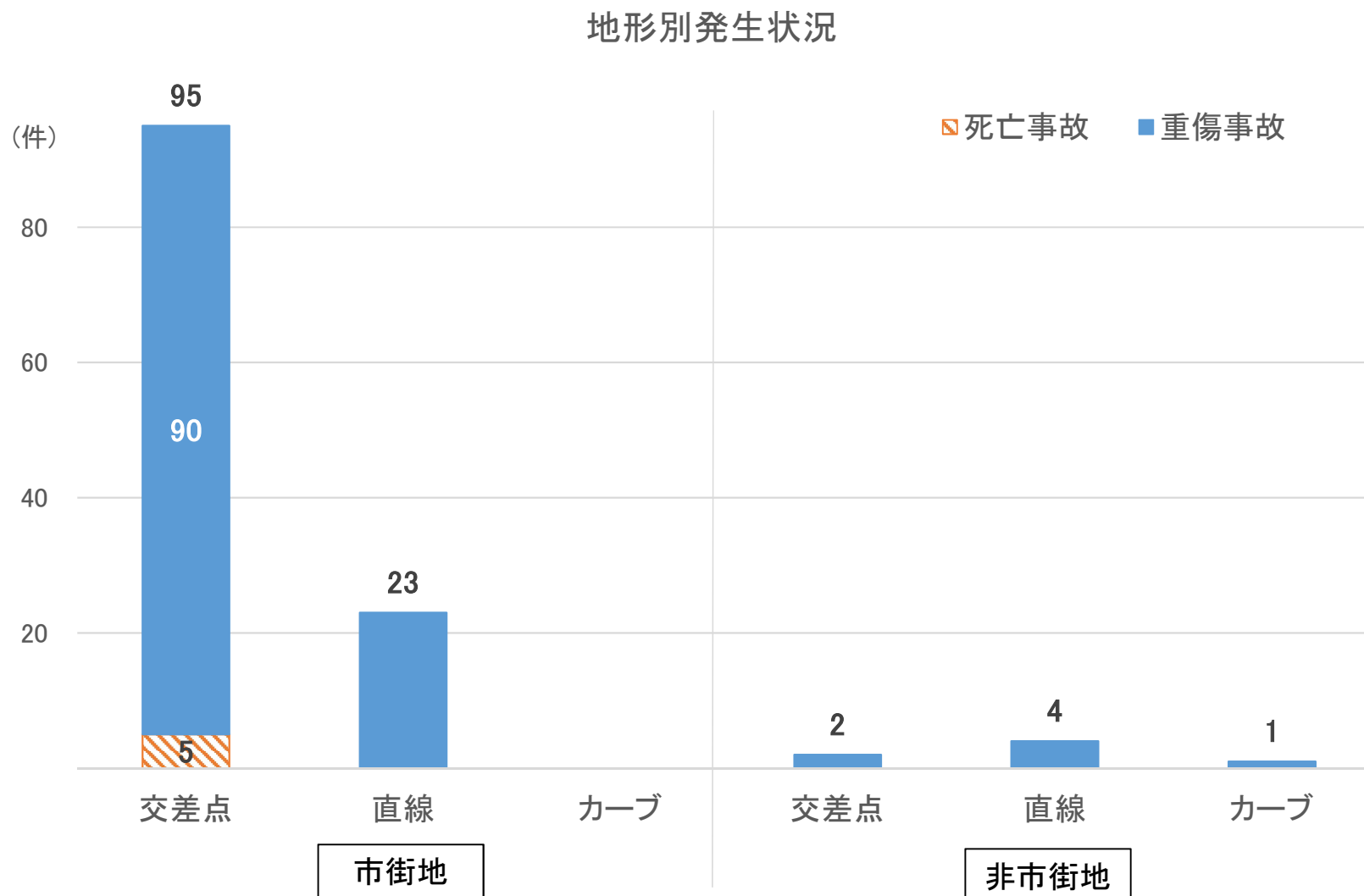
4-1 自転車対車両における時間帯別発生状況

通学・通勤時間帯である8～10時及び16時～18時が最も多い。



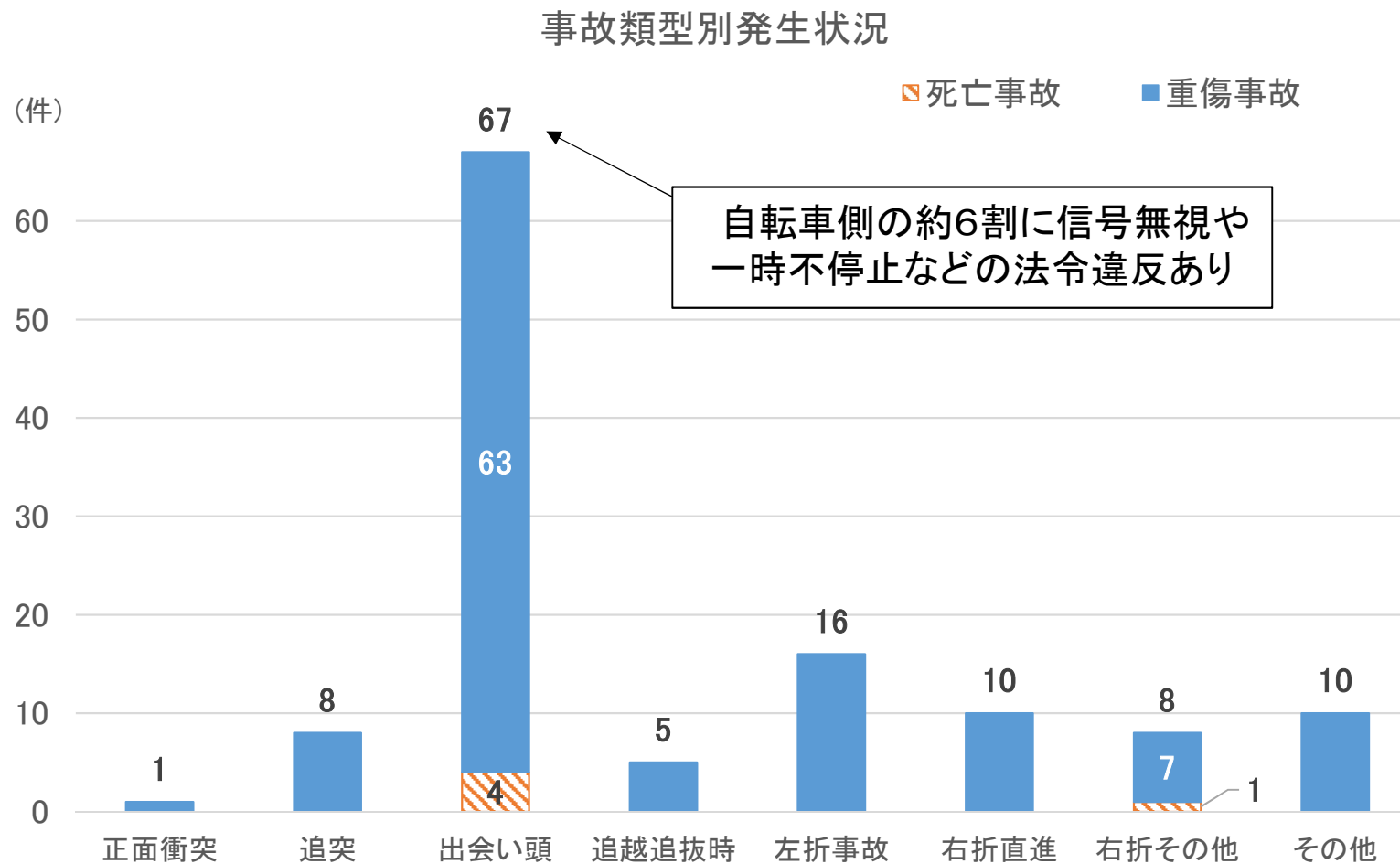
4-2 自転車対車両における地形別発生状況

市街地交差点が最も多く、次いで市街地直線が多い。



4-3 自転車対車両における事故類型別発生状況

出会い頭が最も多く、次いで左折事故が多い。



(注)「左折事故」、「右折その他」とは一方の車両等が、左折、右折時に発生した事故をいう。

4-4 自転車対車両における自転車乗用中の年齢層別死傷者数

65歳以上が最も多く、次いで15歳以下が多い。

